

# 平成 25 年度 事業計画書

平成 25 年 3 月 9 日理事会承認

## I. 事業方針

地理学に関する学理及びその応用の研究に関する事業を行い、地理学の進歩普及を図り、もってわが国の学術の発展と科学技術の振興に寄与するとともに、地理教育の推進、社会連携の推進、国際協力の推進を図り、社会の発展に資することを目的とする（定款第 3 条）。

## II. 事業内容

### ① 研究発表会、学術講演会等の開催による地理学研究の推進事業（定款第 4 条第 1 号）

- ・日本地理学会秋季学術大会を下記の通り行う。  
日時 平成 25 年 9 月 28 日～9 月 30 日  
場所 福島大学 参加予定者数 600 名 演題予定数 150 件
- ・日本地理学会春季学術大会を下記の通り行う。  
日時 平成 26 年 3 月 26 日～3 月 29 日  
場所 国土館大学 参加予定者数 900 名 演題予定数 250 件
- ・研究集会を下記の通り行う。
  - (1) 日本地球惑星科学連合 2013 年大会で、主催セッション：「人間環境と災害リスク」、共催セッション：「地球環境変化の人的側面研究計画（国際セッション）」、「Global Land Project（国際セッション）」、「ジオパーク（一般セッション）」、「環境リモートセンシング（一般セッション）」、「津波堆積物（一般セッション）」を下記の通り行う。  
日時 平成 25 年 5 月 19 日～5 月 24 日  
場所 千葉県幕張メッセ国際会議場 参加予定者数 400 名 演題予定数 100 件
  - (2) 下記日程で開かれる 2013 年京都国際地理学会議について、地理学関連の学会を代表する組織として支援する。  
日時 平成 25 年 8 月 4 日～8 月 9 日  
場所 国立京都国際会館 参加予定者数 1,200 名 演題予定数 1,600 件
- ・地理教育公開講座を下記の通り行う。
  - (1) 日時 平成 25 年 9 月 28 日～9 月 29 日  
場所 福島大学 参加予定者数 150 名 演題予定数 8 件
  - (2) 日時 平成 26 年 3 月 27 日～3 月 29 日  
場所 国土館大学 参加予定者数 150 名 演題予定数 8 件

### ② 学会誌及びその他の刊行物の発行による地理学研究の普及事業（定款第 4 条第 2 号）

- ・学会誌「地理学評論」（冊子体）を下記の通り発行する。

発行年月日	巻 号	発行予定部数
平成 25 年 5 月 1 日	86 3	3,500 部
平成 25 年 7 月 1 日	86 4	3,500 部
平成 25 年 9 月 1 日	86 5	3,500 部
平成 25 年 11 月 1 日	86 6	3,500 部
平成 26 年 1 月 1 日	87 1	3,500 部
平成 26 年 3 月 1 日	87 2	3,500 部
- ・学会誌「Geographical Review of Japan Series B」（オンライン版）を下記の通り発行する。

発行年月日	巻 号
平成 25 年 6 月 1 日	86 1
平成 25 年 12 月 1 日	86 2
- ・オンライン学会誌「E-journal GEO」を下記の通り発行する。

発行年月日	巻 号
平成 25 年 9 月 30 日	8 2

平成 26 年 3 月 31 日 9 1

- ・「日本地理学会発表要旨集」を下記の通り発行する。

発行年月日	号	発行予定部数
平成 25 年 9 月 10 日	84	900 部
平成 26 年 3 月 10 日	85	1,200 部

- ・日本地理学会 AJG Library (英文叢書) を、2 冊程度刊行する。

③ 関連学会等との連携及び協力並びに社会連携・社会教育の推進事業 (定款第 4 条第 3 号)

- ・ 地理関連学会連合に加盟し、代表を送り、事務局を務める。
- ・ 地理学連携機構に加盟し、代表を送る。
- ・ 日本地球惑星科学連合に加盟し、代表を学協会長会議および学協会連絡委員会に送る。また、関連する委員会に必要に応じて委員を送る。
- ・ 人文・経済地理及び地域教育関連学会連携協議会に加盟し、代表委員を送る。
- ・ 自然史学会連合に加盟し、代表を送る。
- ・ 日本ジオパーク委員会活動に協力し、委員を送る。
- ・ 関連他学協会・団体が主催する事業で本学会の趣旨に添うものを適宜後援する。

④ 研究の奨励及び研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業 (定款第 4 条第 4 号)

- ・ 2013 年度日本地理学会賞を下記の通り表彰する。

優秀論文部門 (若干名)	若手奨励部門 (若干名)	発信部門 (若干名)
優秀著作部門 (若干名)	著作発信部門 (若干名)	地理教育部門 (若干名)
学術貢献部門 (若干名)	社会貢献部門 (若干名)	

受賞者は日本地理学会賞受賞候補者選考委員会の推薦により理事会が決定する。

- ・ 2 件程度の学術書に対して日本地理学会出版助成を行う。
- ・ 若手研究者によるヨーロッパ研究に対して 2 件程度の助成事業を行う。

⑤ 資格認定、地理教育の支援等による地理学的知識・技術の普及及び社会貢献事業 (定款第 4 条第 5 号)

- ・ 社会一般における GIS 利用の啓発・普及を進めることによって社会に貢献するために、GIS 学術士資格を認定する。
- ・ 社会一般における地理学知識・技術の普及・利用を促進することによって社会に貢献するために、地域調査士資格を認定する。
- ・ 科学地理オリンピック日本選手権兼国際地理オリンピック選抜大会を共催し、地理学の普及につとめる。
- ・ 「G 空間 EXPO2013」(平成 25 年 11 月 14 日～11 月 16 日、日本科学未来館)にてシンポジウムおよび資料出展を行い、地理学の普及につとめる。

⑥ 地理学に関連する国際的な研究協力の推進事業 (定款第 4 条第 6 号)

- ・ 2013 年 8 月 4 日～9 日に開催する「2013 年京都国際地理学会議」において、日本学術会議地球惑星科学委員会 IGU 分科会および同大会組織委員会と連携して開催に協力するとともに、財政面での支援を行う。
- ・ 2013 年 7 月 30 日～8 月 4 日に九州大学で開催予定の第 8 回日中韓地理学会議を、中国地理学会・大韓地理学会と共催する。

⑦ その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (定款第 4 条第 7 号)

- ・ 2011 年 3 月に発生した東北地方太平洋沖地震による災害に関して、調査研究に取り組むとともに、その結果を広く社会に還元することに努める。

⑧ 総会の実施 (定款第 15 条)

- ・ 定時総会を下記の通り行う。

日時 平成 25 年 6 月 22 日 14 時から  
場所 早稲田大学 参加予定者数 110 名

- ・ 臨時総会を下記の通り行う。

日時 平成 26 年 3 月 26 日  
場所 国士舘大学 参加予定者数 110 名